

		<p>学校報 令和2年 5月11日 No. 6 美郷町立美郷中学校</p>
---	--	---

### ■学校再開♡生徒の元気な声響く…緊張感は継続

県内では4月15日以降約3週間ほど、新型コロナウイルスの新規感染者が発生していないことなどを踏まえ、県内の多くの学校が5月7日以降から再開しており、本校も同様に対応しております。しかし、全国的には5月末まで緊急事態宣言下にあり、引き続き衛生と健康の管理については緊張感を保って学校生活を送ることとなります。

ご家庭におかれては、この状況を十分にご理解の上、生徒の学習や諸活動が円滑に進められるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。



〈保健室前の元気づけられる掲示…C. 先生作〉

みんなが苦しいときだからこそ、元気を出して前向きにいきたいものです。

### ■中体連「県総体」中止、「郡市総体」延期！

報道等でご承知のとおり、県中体連は今年度の総合体育大会（全県少年野球大会を含む）の中止を決定いたしました。

これを受けて大曲仙北地区中体連は、6月に予定していた郡市総合体育大会を7月11、12、13日（土、日、月）に延期することを決定しました。全国、東北、県大会の中止は、これを目標に頑張ってきた運動部の、特に3年生の皆さんにとっては辛く重い決定となりました。

このことについて、T. OOOさん(3年)が「ウイルスを憎んでいても何も変わらない。自分のバスケット人生が終わったわけではないので前向きに精いっぱいやりたい。」(秋田魁新報5月2日)と健気に語ってくれました。胸が張り裂ける想いです。

部活動は大会のためだけのものではありませんが、大きな目標の一つであり、努力の支えて

あることに間違いありません。

部活動のねらいを今一度確認し、残された郡市総体に希望をつないで仲間と共に前を向き、この部活動をやってよかったと思えるように取り組んでほしいと願っています。

### ■新年度にかける想い、学校に活力みなぎる♡

臨時休業のために閑散としていた教室や廊下の壁面に、生徒の今年にかける想いが揃い、学校に活力がみなぎってきています。

「花曇り 差し込む光 希望乗せ」というT. OOさん(3年)の句が目飛びこみ、しばらく立ち止まりました。意欲に満ちた3年生の春と曇り空に咲く満開の桜が、新型コロナウイルスのために不安な日々と重なる中、一筋の光に希望を乗せて前向きに頑張ろうとする想いが率直に表現されているように感じられました。

ほかにも、3年生の廊下には、「全校の手本になるよ三年生」(U. Oさん)、「追いかけた背中を次は見せる番」(M. OOさん)、「全力でこの学校を引っばるぞ」(S. OOさん)など、リーダーの自覚を行動で示そうとする頼もしい想いがたくさん表明されています。

1年生は、新しい仲間や環境の中で、自分の力を開拓しようとする想いが、2年生は中堅学年としての役割を果たしたいという想いが、それぞれの目標に力強く記されています。

生活や学習、そして部活動の基盤を築き、日々の積み重ねで、着実に目標を達成してくれることを期待しています。

